

マイクロマシン／MEMS 分野関連 【2020 年 5 月の経済報告】

令和 2 年 5 月 25 日
令和 2 年 6 月 3 日追記

本稿は、マイクロマシン／MEMS 分野を取り巻く経済・政策動向のトピックをいろいろな観点からとらえて発信しています。今月の経済報告をお届けします。

掲載内容

1. 全般動向（内閣府発表 景気動向指数より）
2. 各経済指標
 - ・内閣府公表 月例報告、機械受注統計調査報告 より
 - ・経済産業省公表 鉱工業指数調査より
3. その他の動向

1. 全般動向

■ 景気動向指数 令和 2（2020）年 3 月分（速報）の概要 （内閣府、令和 2（2020）年 5 月 12 日発表 より抜粋）

- ① 3 月の C I（速報値・平成 27(2015)年=100）は、
先行指数：83.8、一致指数：90.5、遅行指数：101.7 となった。

先行指数は、前月と比較して 8.1 ポイント下降し、2 か月ぶりの下降となった。
3 か月後方移動平均は 2.54 ポイント下降し、2 か月ぶりの下降となった。
7 か月後方移動平均は 1.25 ポイント下降し、22 か月連続の下降となった。

一致指数は、前月と比較して 4.9 ポイント下降し、2 か月連続の下降となった。
3 か月後方移動平均は 1.26 ポイント下降し、2 か月ぶりの下降となった。
7 か月後方移動平均は 1.12 ポイント下降し、17 か月連続の下降となった。

遅行指数は、前月と比較して 0.8 ポイント上昇し、8 か月ぶりの上昇となった。
3 か月後方移動平均は 0.40 ポイント下降し、7 か月連続の下降となった。
7 か月後方移動平均は 0.34 ポイント下降し、8 か月連続の下降となった。

- ② 一致指数の基調判断
景気動向指数（CI 一致指数）は、悪化を示している。

詳細は以下の内閣府 ホームページをご参照下さい。

- ・景気動向指数「令和 2(2020)年 3 月分（速報）の概要」pdf へ：
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202003psummary.pdf>
- ・（ご参考）内閣府「景気動向指数」関連 TOP ページ：
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/di.html>

2. 各經濟指標

■ 月例経済報告（5月）（内閣府、令和2年5月28日公表）
（月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料より抜粋）

＜日本経済の基調判断＞

(現状)

- ・ 景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、急速な悪化が続いており、極めて厳しい状況にある。

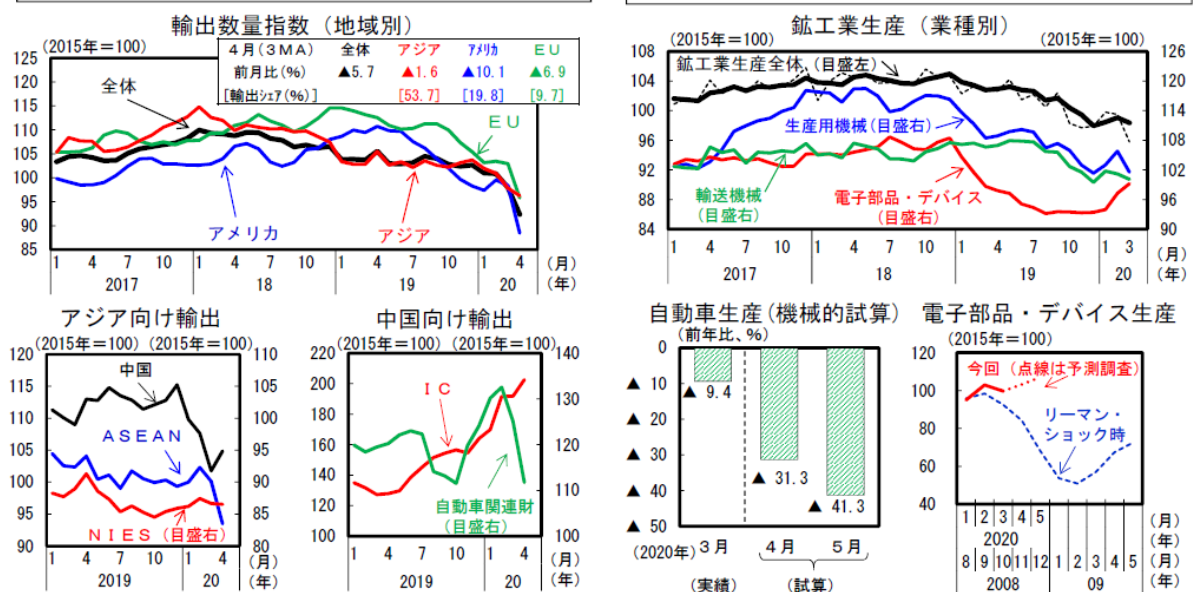
(先行き)

- ・先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくが、当面、極めて厳しい状況が続くと見込まれる。金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

今月のポイント(3) 輸出・生産

- 財の輸出は、欧米向けを中心に、急速に減少。
- ただし、4月の中国向けは増加。自動車関連財などは弱いが、I C など情報関連財の堅調さが下支え。

- 製造業の生産は、内外需の弱さを受け減少。
- 特に、自動車生産は、大幅な減少が続く見込み。一方、テレワークの普及等もあり、電子部品・デバイス生産は持ち直しが続く見込み。



(備考) 1. 左側の3つの図は、財務省「貿易統計」により作成。内閣府による季節調整値、3か月移動平均。輸出シェアは2019年の金額シェア。
2. 左図(左)のNIEsとは、韓国、台湾、香港、シンガポール。左図(右)は数値ベース。自動車関連時は、乗用車と自動車の部品を金額ウェイトで合算したもの。
3. 右図及び右図下(右)は、経済産業省「工業生産指数」により作成。季節調整値。実績は3か月移動平均、右上の破線は1月の動き。右図(左)の試算値は、主要自動車メーカーの工場毎の稼働日数(報道情報等)に、各工場の日当たり生産台数(2019年実績等)を乗じて産産数を算出。同前月産数を、各月の当初稼働予定日数に日当たり生産台数を乗じて算出したフル稼働日ベースの生産台数で除すことで、減産率を算出。3月の実績は、工業生産指数における「乗用車」の前年同月比。

詳細は以下より内閣府 月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料をご参照下さい。

(5月例經濟報告資料 pdf ^) :

<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2020/05kaigi.pdf>

(ご参考) 内閣府「例経済報告等に関する関係閣僚会議資料」関連 TOP ページ:

<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/kaigi.html>

■ 設備投資 令和2年3月実績：機械受注統計調査報告
(令和2年5月20日 内閣府 経済社会総合研究所 公表より抜粋)

1. 機械受注総額の動向をみると、2020（令和2）年2月前月比6.9%減の後、3月は同3.0%増の2兆2,890億円となった。
2. 需要者別にみると、民需は前月比3.9%減の9,791億円、官公需は同17.1%増の2,798億円、外需は同1.3%減の8,793億円、代理店は同3.3%減の1,156億円となった。
3. 民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」の動向をみると、2020（令和2）年2月前月比2.3%増の後、3月は同0.4%減の8,547億円となった。このうち、製造業は同8.2%減の3,430億円、非製造業（除く船舶・電力）は同5.3%増の5,092億円となった。

対前月(期)比

(単位:%)

需要者	期・月	2019年 (平成31年) 4-6月 (実績)	2019年 (令和元年) 7-9月 (実績)	10-12月 (実績)	2020年 (令和2年) 1-3月 (実績)	4-6月 (見通し)	2019年 (令和元年) 12月 (実績)	2020年 (令和2年) 1月 (実績)	2月 (実績)	3月 (実績)
受注総額		-1.3	1.8	-5.4	3.9	-4.7	-4.6	11.5	-6.9	3.0
民需		6.3	0.1	-4.3	-5.1	2.8	-8.6	-1.6	3.1	-3.9
〃（除船電）		7.8	-4.7	-1.8	-0.7	-0.9	-11.9	2.9	2.3	-0.4
製造業		2.3	-3.5	-2.8	1.8	-3.6	2.4	4.6	-1.7	-8.2
非製造業（除船電）		14.3	-9.3	3.6	-5.1	2.4	-18.8	-1.7	5.0	5.3
官公需		29.7	-4.9	-10.5	25.5	4.6	-17.8	87.8	-39.1	17.1
外需		-13.4	5.8	-7.9	8.7	-13.7	3.0	9.1	2.7	-1.3
代理店		-0.5	-4.0	-3.1	3.6	-6.1	-2.6	8.1	-2.7	-3.3

(備考) 季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。

詳細は以下の内閣府 ホームページをご参照下さい。

- ・ 令和2年3月実績：機械受注統計調査報告
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2020/2003juchu.html>
- ・ (ご参考) 統計表一覧：機械受注統計調査報告関連 TOP ページ：
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html>

■ 鉱工業指数調査 結果の概要【2020年3月分】
(経済産業省 2020年5月19日発表 より抜粋)

<概況>

- ・ 製造工業生産能力指数は、98.2で前月比-0.1%の低下。
低下業種：電気・情報通信機械工業同-0.2%、
生産用機械工業同-0.1%、汎用・業務用機械工業同-0.1%等

上昇業種： 電子部品・デバイス工業同 0.2%、金属製品工業同 0.1%、
石油・石炭製品工業同 0.1%

・ 製造工業稼働率指数は、92.2 で前月比-3.6%の低下。

低下業種： 化学工業同-8.0%、輸送機械工業同-3.9%、
鉄鋼・非鉄金属工業同-6.5%等

上昇業種： 電気・情報通信機械工業同 0.7%、
電子部品・デバイス工業同 0.4%、汎用・業務用機械工業同 0.3%

製造工業生産能力指数、2015年 = 100

生産能力	原指数		
	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
	98.2	-0.1	-0.4

製造工業稼働率指数、2015年 = 100

稼働率	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比 (%)	指数	前年同月比 (%)
	92.2	-3.6	99.4	-7.6

鉱工業指数、2015年 = 100

	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比 (%)	指数	前年同月比 (%)
生産 (速報値)	95.8 (95.8)	-3.7	105.3 (105.3)	-5.2
出荷 (速報値)	93.2 (94.0)	-5.8	104.9 (105.8)	-6.5
在庫 (速報値)	106.4 (106.4)	1.9	101.8 (101.8)	2.9
在庫率 (速報値)	121.9 (122.1)	8.4	106.6 (106.8)	12.6

＜2020 年 3 月の製造工業生産能力指数・稼働率指数の動向＞

Index. 2015 = 100

生産能力 Production Capacity	原 指 数 Original Index		
	98.2	前月比(%) %Change from Previous Month	前年同月比(%) %Cange from Previous Year
		-0.1 (2か月連続)	-0.4 (27か月連続)
稼働率 Operating Ratio	季 節 調 整 済 指 数 Seasonally Adjusted Index		原 指 数 Original Index
	92.2	前月比(%) %Change from Previous Month	前年同月比(%) %Cange from Previous Year
		-3.6 (2か月連続)	99.4 -7.6 (6か月連続)

製造工業生産能力指数・稼働率指数の時系列表

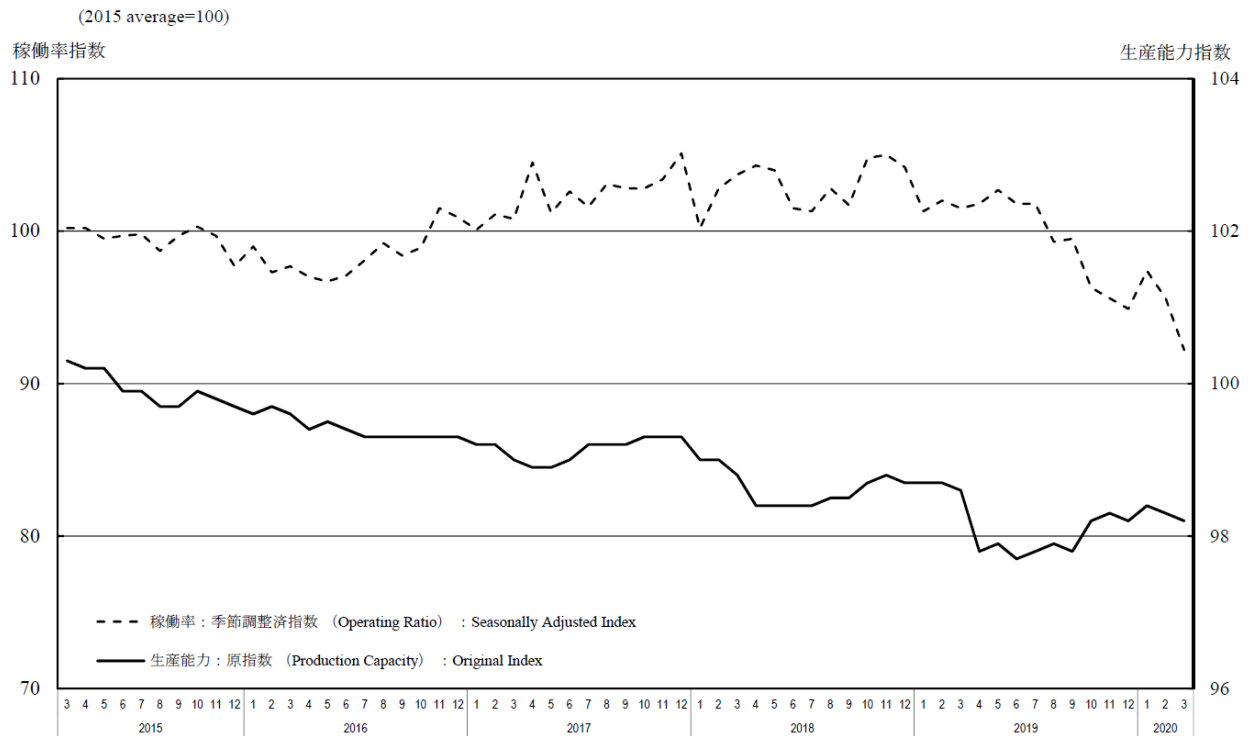
Historical Data for Indices of Production Capacity and Operating Ratio

index,2015= 100

index.2019-10

年 月	生産能力(末) Production Capacity			稼働率 Operating Ratio				Year and Month	
	原指数 Original Index		季節調整済指数 Seasonally Adjusted Index		原指数 Original Index				
	前月(期)比 %Change From Previous Month(Quarter)	前年 (同月期)比 %Change From Previous Year		前月(期)比 %Change From Previous Month(Quarter)		前年 (同月期)比 %Change From Previous Year			
2017 年	99.3		0.0			102.3	3.9	C.Y.	2017
2018	98.7		-0.6			103.1	0.8	C.Y.	2018
2019	98.2		-0.5			99.9	-3.1	C.Y.	2019
2017 年度	98.8		-0.2			102.7	3.5	F.Y.	2017
2018	98.6		-0.2			102.5	-0.2	F.Y.	2018
2019	98.2		-0.4			98.3	-4.1	F.Y.	2019
2019 年 I 期	98.6	-0.1	-0.2	101.6	-3.0	101.6	-2.1	Q1	2019
II 期	97.7	-0.9	-0.7	102.1	0.5	101.2	-0.6	Q2	
III 期	97.8	0.1	-0.7	100.2	-1.9	100.5	-0.5	Q3	
IV 期	98.2	0.4	-0.5	95.6	-4.6	96.3	-8.9	Q4	
2020 年 I 期	98.2	0.0	-0.4	95.1	-0.5	95.2	-6.3	Q1	2020
2019 年 1月	98.7	0.0	-0.3	101.3	-2.8	97.4	-0.2	Jan.	2019
2月	98.7	0.0	-0.3	102.0	0.7	99.9	-1.7	Feb.	
3月	98.6	-0.1	-0.2	101.5	-0.5	107.6	-4.1	Mar.	
4月	97.8	-0.8	-0.6	101.8	0.3	101.7	-0.4	Apr.	
5月	97.9	0.1	-0.5	102.7	0.9	99.9	0.1	May	
6月	97.7	-0.2	-0.7	101.8	-0.9	102.0	-1.4	Jun.	
7月	97.8	0.1	-0.6	101.8	0.0	107.9	2.8	Jul.	
8月	97.9	0.1	-0.6	99.3	-2.5	92.3	-4.9	Aug.	
9月	97.8	-0.1	-0.7	99.5	0.2	101.3	0.4	Sep.	
10月	98.2	0.4	-0.5	96.3	-3.2	98.5	-8.7	Oct.	
11月	98.3	0.1	-0.5	95.6	-0.7	96.1	-10.4	Nov.	
12月	98.2	-0.1	-0.5	94.9	-0.7	94.4	-7.5	Dec.	
2020 年 1月	98.4	0.2	-0.3	97.4	2.6	93.6	-3.9	Jan.	2020
2月	98.3	-0.1	-0.4	95.6	-1.8	92.6	-7.3	Feb.	
3月	98.2	-0.1	-0.4	92.2	-3.6	99.4	-7.6	Mar.	

製造工業生産能力指数・稼働率指数の推移(グラフ)
 Historical Data (Graph) for Indices of Production Capacity and Operating Ratio



詳細は以下の経済産業省 ホームページをご参照下さい。

- ・ 2020 年 3 月の製造工業生産能力指数・稼働率指数の動向 (pdf) 資料
https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015_202003nj.pdf
- ・ 鉱工業指数関連 結果の概要ページ :
<https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

3. その他の動向

■ 電子部品グローバル出荷統計

(一社) 電子情報技術産業協会 (JEITA)、2020 年 4 月 30 日発表より抜粋)

【2020 年 2 月動向概況】

- ・ 2020 年 2 月のグローバル出荷額は 2,756 億円、前年比 101.5%となり、前年比プラスとなった。
- ・ 品目別出荷は受動部品（前年比 100.3% 1,188 億円）、接続部品（同 95.4% 683 億円）、変換部品（同 88.8% 406 億円）、その他の電子部品（同 133.7% 478 億円）となった。
- ・ 地域別出荷は日本（前年比 87.2% 632 億円）、米州（同 92.3% 291 億円）、欧州（同 87.0% 309 億円）、中国（同 116.2% 908 億円）、アジア・その他（同 114.1% 620 億円）となった。

【月別出荷金額】

1. 月別出荷金額 (2020.04.30 発表：毎月更新)

電子部品出荷額（億円）		2019年度						2019年度累計	
		12月		1月		2月		4月-2月	
		金額(億円)	前年比（％）	金額(億円)	前年比（％）	金額(億円)	前年比（％）	金額(億円)	前年比（％）
世界計		3,080	103	2,890	91	2,756	101	33,983	94
（日本）		724	94	667	94	632	87	7,850	91
品目別	受動部品	1,313	99	1,226	85	1,188	100	14,312	92
	コンデンサ	939	97	879	83	859	98	10,234	91
	抵抗器	116	87	114	87	111	94	1,314	87
	トランス	31	85	32	85	29	84	369	87
	インダクタ	220	119	194	91	183	116	2,355	100
	その他	4	173	5	174	4	148	38	115
	接続部品	817	104	760	98	683	95	8,957	96
	スイッチ	317	95	328	92	278	86	3,890	99
	コネクタ	497	111	428	103	402	103	5,027	94
	その他	2	64	2	66	2	72	39	72
	変換部品	500	98	480	90	406	88	5,866	92
	音響部品	107	77	106	71	89	76	1,261	79
	センサ	200	104	193	100	176	98	2,193	96
	アクチュエータ	192	107	180	94	139	87	2,411	96
	その他の電子部品	449	123	422	98	478	133	4,847	99
	電源部品	161	96	160	97	149	101	1,783	91
	高周波部品	287	147	261	98	329	156	3,063	105

【地域別出荷金額】

2. 地域別出荷金額
 ※2019年度※

地域別出荷金額 (億円)	2019年度						2019年度累計	
	12月		1月		2月		4月-2月	
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)
グローバル	3,080	103	2,890	91	2,756	101	33,983	94
日本	724	94	667	94	632	87	7,850	91
米州	277	87	320	84	291	92	3,494	92
欧州	239	89	339	87	309	87	3,463	93
中国	1,210	119	925	91	908	116	12,036	95
アジア他	632	101	642	92	620	114	7,188	96

詳細は以下の JEITA（電子情報技術産業協会）ホームページをご参照下さい。

https://home.jeita.or.jp/ecb/information/info_stati.html

以上